

第 3099 圖

いそむらさき

Symphycloadia latiuscula
(Harvey) Yamada.

體ハ叢生シ高サ 10cm 内外、線狀扁壓ニシテ幅 1-1.5mm 許、枝ヲ兩縁ヨリ羽狀ニ互生ス。枝ハ更ニ小枝ヲ羽狀ニ出シ、三四回コレヲ繰返ス。四分胞子囊ハ小枝ノ密ニ分岐シテ略ボ扇狀ヲ成セルモノニ生ズ。色ハ黒紫色ニシテ若キ體ハ膜質ナレドモ老成セルモノハ質粗剛トナル。乾燥後紙ニ附着スルコト充分ナラズ。紙ニ貼附後時ヲ経レバ體ノ附近ノ紙ハ紫色ニ染マルヲ見ルベシ。各地ニ普ク、干満線間ニ生ズ。

ふぢまつも科



第 3100 圖

ゆ な

Chondria crassicaulis Harvey.

體ハ高サ 10-20cm、圓柱狀、稍肉質ニシテ太サ 2-5mm、時ニ更ニ太クナルモノアリ。分岐法ハ一般ニ不規則ナレドモ多クハ互生ニシテ各方面ニ出デ、枝、特ニ小枝ノ基部稍縊ル。小枝ノ先端ニハ芥子粒大ノ小球狀ノ胚芽枝ヲ附クルコトアリ。又生長點ハ枝端ノ凹ミノ内ニ存ス。元來ハ紫紅色ナレドモ屢々綠色又ハ黄色ヲ呈ス。質柔カク、乾燥後ハ紙ニ附着ス。又少シク壞頽スルトキハ惡臭ヲ發ス。各地ニ普ク、干満線間又ハソレヨリ深所ニ生ズ。

ふぢまつも科



第 3101 圖

ま くら

一名 かいにんさう

Digenea simplex C. Agardh.

體ハ 7-20cm 許高ク、2mm 内外ノ徑ヲ有シ、圓柱狀ニシテ不規則ニ又狀ニ數回分岐シ、基部ヲ除ケル各部ハ細キ剛毛ノ如キ小枝ヲ以テ密ニ被ハル。小枝ノ長サ 5-10-15mm アリ、廣開シテ出ヅ。通常此等ノ小枝上ニハ他ノ微小ナル海藻・動物等ノ附着セルヲ見ル。南海ノ産ニシテ紀州邊ヨリ以南ニ産シ、干潮線下ニ生ズ。古クヨリ初生兒ノ蟲下シ等ニ供セラレ、又まくにんと稱スル藥ノ原料トナル。海人草、鷓鴣菜ト稱ス。

ふぢまつも科



あやにしき

Martensia denticulata Harvey.

體ハ膜狀ヲ成シテ扇形ニ擴ガリ、高サ 10-30cm 位ヲ普通トス。下部ハ薄キ膜狀ナレドモ少シク上部ヨリハ細カキ格子目ノ如キ網トナリ、邊縁ニハ小鋸齒アリ。若キ時ハ扇狀ヲ成スモ、長ズレバ殆ド縦ニ裂ケテ若干ノ裂片トナル。四分胞子ハ主トシテ膜狀部ニ砂ヲ撒キタルガ如クニ生ジ、囊果ハ小球狀ニシテ網狀部ニ生ズ。生時水中ニテハ藍綠色ニ見ヘ閃光ヲ發スレドモ、乾燥スルトキハ美シキ紅色トナリ、紙ニ密着ス。本州中部以南各地ニ産シ、波浪ノ靜穩ナル邊ヲ好ミ、干潮線下ニ生ズ。最モ美麗ナル海藻ノ一ナリ。

第 3102 圖



このはのり科

ゑごのり

一名 ゑご・おきうど・からくさいぎす

Ceramium hypnaeoides

(J. Agardh) Okamura.

體ハ幼時ハ又狀ニ分岐シ、多クノ細キ小枝ヲ有シ、ほんだはら類ノ體上ニ著生スルモ後不規則トナリ、鈎狀ノ端ヲ有スル枝ヲ以テほんだはら類ノ體ニ纏ハリ、紛亂錯綜シテ塊ヲ成ス。體ノ長サ 10-20cm ニ及ビ、老成セルモノニテハ徑 1mm 許アリ、且ツ小枝ヲ失ヒ、質モ硬クナリテ軟骨質ヲ呈スルニ至ル。九州以北ノ各地ニ普ク、特ニ日本海ニ多ク産シ、干潮線下ニテほんだはら類ノ體上ニ生ズ。食用トシ、又寒天製造ノ際ニ使用セララル。

第 3103 圖



ゑぎす科

ふしつなぎ

Lomentaria catenata Harvey.

體ハ匍匐部ヨリ直立叢生シ、高サ 10cm 内外。圓柱狀又ハ少シク扁壓サレ、節部ヲ除キ中空、徑 1-1.5mm 許アリ。所々縊レテ節ノ如クナル。主軸ハ一般ニ貫通シ、其上ニ枝ヲ對生・輪生等ニ著ク。囊果ハ小球狀ヲ成シ(3)、四分胞子囊ハ略橢圓形ニ集リテ小枝上ニ稍凹ミテ生ズ(1, 2)。暗紅色ヲ呈シ、軟骨質ニシテ乾燥後ハ紙ニ附着スルコト不十分ナリ。廣ク各地ノ海ニ産シ、干満線間ニ生ジ、特ニ潮溜リ等ニ多ク發見セララル。

第 3104 圖



わたなぎさう科